

令和3年度
事業計画書



～ つなぐハート つなげる明日 魚津市社協 ～

社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会

令和3年度 事業計画

基本方針

人口減少、少子高齢化に加え、認知症高齢者や一人暮らし高齢者世帯の増加、コロナ禍による生活課題の顕在化など個人や世帯が抱える生きづらさが複雑化・多様化してきています。このような中、制度や分野ごとの縦割りを見直し、個人や世帯が抱える課題を包括的に対応する体制づくりや、従来からの担い手、支え手という関係性のみではなく、地域住民や様々な団体・企業等が参画し、それぞれの強みを活かしてつながることで共に地域づくりを進めていく「地域共生社会」の実現が求められています。

魚津市社会福祉協議会では、令和3年度も「みんなが安心して、暮らし続けることができる、地域づくりのために～地域共生社会の構築を目指して～」を基本理念に、住民、行政、関係団体と連携・協働し、さらなる地域福祉の充実に努めます。そして中長期的に魚津市における地域福祉を推進する責任ある団体としての使命をはたすことのできる支援体制の強化、持続可能な組織づくり、財政基盤の安定化に向け取り組んでいきます。

経営重点目標 本会は、次の経営重点目標に基づき、本会に求められる役割の実現とその目標達成に向けて組織機能を強化します。

- (1) 安定した法人経営と地域から信頼される組織づくり
- (2) 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり
- (3) 地域住民が自立した生活を送ることができるための権利擁護体制の構築
- (4) 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施
- (5) 地域福祉の拠点施設としての機能の拡充

新規・拡充事業

【新規】 ○介護職員初任者研修の実施（総務課）

○第2期中期経営計画・第5次地域福祉活動計画の策定（事務局）

○成年後見制度利用促進体制の整備（地域福祉課）

○共生社会づくり推進事業（地域福祉課）

○つばめ児童センター日曜開館事業（児童センター）

○利用料金制度による事業運営（つくし学園）

【拡充】 ○住民活動グループ支援事業

○高齢者通所型介護予防事業・さんさん介護予防倶楽部じゃ〜んとこい（地域福祉課）

経営改善への取り組み

○介護報酬、障害福祉サービス報酬による加算等の適正な請求管理による収入確保

○所長等会議での月次経理執行状況報告を活用した法人内連携の強化

1 地域福祉拠点

1 法人運営事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)法人運営事業			法人組織力の機能強化と職員の専門性を活かす人材育成に努めます。 ○部署間連携を強化し職員の資質向上を図ります。 ○計画的に人材確保(職員採用)を行うとともに、職員が働く意欲を高めることのできる体制整備を行います。 ○法令順守を徹底し地域住民から信頼される法人経営に努めます。 ○法人の経営状況、財務状況の正確な把握に努めます。	通年
12,701	24,026	△11,325		
(利息配当金 1,408・繰入金 18,662 その他 230)				
(2)地域包括支援センター介護予防支援事業			指定介護予防支援事業(要支援1・2のケアプラン作成と給付管理)、介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する予防プラン作成等を行う職員を市包括支援センターに派遣します。	通年 職員6名派遣 (常勤職員5名・契約職員1名)
31,713	31,212	501		
(市受託金 31,713)				
(3)介護認定調査受託事業			本会職員が市社会福祉課に出向し、要介護認定申請者の自宅等に訪問し、心身等の状況を確認し、調査票のまとめを行います。	通年 職員2名派遣 (契約職員2名)
6,418	6,418	0		
(市受託金 6,418)				
(4)退職共済積立事業			全国社会福祉協議会が運営する退職手当積立基金制度に加入しており、将来の退職手当給付に充てるための資産確保に努めます。	通年
37,115	16,643	20,472		
(繰入金 15,884・その他 21,231)				
(5)中期経営計画推進事業			中期経営計画の推進、取組み状況の成果、評価・分析を踏まえ、第2期中期経営計画(令和4年度～令和8年度)の策定に取り組みます。	第2期中期経営計画策定委員会の開催
235	70	165		
(繰入金 235)				
(6)社会福祉法人連携強化事業			魚津市内の社会福祉法人が連携し、魚津の福祉をよくするための公益的な取り組みを推進します。	通年
0	0	0		

			○「魚津市社会福祉法人連絡会」の事務局として、情報提供や地域課題に対応するための活動を行います。	
(7)社協組織力強化事業			介護人材を育成し、地域に求められる魚津市社会福祉協議会を目指し組織力強化を行います。 ○介護職員初任者研修を実施し、介護職員確保に努めます。 ○地域福祉を活性化するファシリテーション力を高めるため、研修会を開催します。 ○魚津市社協の強みを生かせる組織力強化に向けた研修会等を開催します。	介護職員初任者研修会 ファシリテーション研修会
155	300	△145		
(繰入金 155)				

2 魚津善意銀行事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)魚津善意銀行事業			市民の皆様からの寄附金や寄附物品をお預かりし、地域福祉活動支援に活用します。 ○善意銀行の在り方の見直しや、時代に応じた寄附金の在り方について検討します。	通年
5,084	4,484	600		
(寄附金 2,050・利息配当金 2・前期繰越金 3,032)				

3 地域福祉・ボランティアサービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1) 見守りネットワーク推進事業			市内に福祉推進員を配置し、地区社協や民生委員児童委員、福祉推進員との連携を強化し、支援体制の整備を進めます。 ○地区担当職員が地域包括支援センター職員と訪問し、必要な支援に繋がります。 ○新任福祉推進員の役割や活動内容についての研修会を13地区で開催します。	4月 新任福祉推進員研修会 (13地区)
2,700	2,700	0		
(市受託金 2,700)				
【拡】(2)地域住民グループ活動支援事業			地域における集いの場を設け、高齢者などの孤立防止、仲間づくり、心身機能の維持、役割の創出などに努めます。 ○サロン活動を推進するための専任職員(地域活動支援員)を配置します。 ○活動助成金の交付や代表者研修会を開催し、サロン活動が充実するよう支援します。 ○講師派遣の充実やレクリエーション用品の貸出、サロンの世話役となり得る人材育成を行い、サロン活動を支援します。 ○コロナ禍における集いの場の在り方など、新たな課題についての対応策を検討します。	目標サロン設置数：88カ所 (現状維持) サロン代表者研修会：年2回 サロン講師派遣：通年 レク用品貸出：通年
5,307	3,522	1,785		
(市受託金 5,307)				

【拡】(3)地域総合福祉推進事業				地区社協会長・事務局長会議
7,246	4,421	2,825	誰もが住み慣れた地域で安心して生活が送れるように地区社協などと連携して生活課題を解決できるよう支援します。	
(会費 3,696・補助金 3,550)			○第4次魚津市地域福祉活動計画の推進、取組み状況の成果、評価・分析を踏まえ、第5次魚津市地域福祉活動計画(令和4年度～令和8年度)の策定に取り組みます。	
			○地区社協間の情報共有や連携強化、地区社協会長・事務局長会議の活性化を図ります。	
			○ケアネット活動の周知徹底と質的充実、また、活動を通じて多職種・他機関との連携を図ります。	
(4)地域福祉強化事業				
15,971	15,338	633	生活課題を地域住民とともに解決につなげる支援や仕組みづくりを行うため、福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターを配置します。	
(補助金 12,161・繰入金 3,810)			通年	
(5)生活支援コーディネーター活動事業				
7,860	7,608	252	生活支援コーディネーターを3名配置し、地域における課題やニーズを把握するとともに、地域の実情に応じた生活支援サービスの発掘、開発を推進します。	
(市受託金 7,000・繰入金 860)			○市と連携し、第3層協議体を東部地区と西部地区に各1地区設置できるよう図ります。	
			○13地区のアセスメントシートを作成し、地域資源の洗い出し等に努めます。	
			○各研修会、協議体会議に参加し、情報共有及び職員の資質向上を図ります。	
(6)買い物サービス支援事業				
250	250	0	買い物が不便な地域、高齢や障がいがあることで遠方まで買い物に行くことが困難な方に対して、地区役員や事業者の協力による買い物支援を実践し、福祉のまちづくりを推進します。	
(補助金 250)			○大町地区社協、片貝地区社協、西布施地区社協での安定的な事業実施を目指します。	
(7)障害者移送支援事業				
5,255	5,085	23	専用特殊車両を使用し、常時車椅子で生活する方に対し主に病院や福祉施設への移動支援を行います。	
(市受託金 4,400・繰入金 855)			○移動支援を行うことにより、地域福祉の増進及び社会生活の利便性を図ります。	
(8)ひとり暮らし高齢者給食サービス事業				
825	802	23	ひとり暮らし高齢者等を対象に調理ボランティアによる手作り弁当を配食します。	
(市受託金 825)			○担当民生委員と連携し、配食サービスを必要とする新規利用者の状況を把握し、他のニーズがあれば必要に応じて支援を行います。	
			○調理ボランティアの資質向上を図るための研修会を開催します。	
			○代表者連絡会を開催し、3地区の配食事業を支援します。	
(9)ボランティアセンター運営事業				
559	612	△53	ボランティアへの理解と関心を高め、ボランティア活動への参加を呼びかけるとともにボランティア相互の連携を図ります。また、青少年期からの福祉のこころを育み、「共に生きる力」を養うための福祉教育を支援します。	
(補助金 468・繰入金 91)			○新たなボランティア活動者の養成、また、現在登録中のボランティアのフォローアップ研修を開催します。特に、オンライン等を活用した取り組みを進めます。	
			○コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した災害ボランティアセンターの運営(ガイドライン)を踏まえ、設置訓練を実施します。	
			通年	
			・ボランティア養成・フォローアップの研修	
			・災害ボランティアセンター設置訓練	
			・ボランティアサポーター研修	

			<p>○ボランティアセンター運営委員会を開催し、ボランティア活動活性化に努めます。</p> <p>○福祉教育サポーターとの連携により、小・中・高の福祉教育プログラムを提供します。</p> <p>○教員を対象とした福祉教育の研修会を開催します。</p> <p>○パラリンピック出場選手への応援や加積地区寺子屋教室の車いすバスケットボール交流会を支援し、福祉意識の高揚を目指します。</p>	<p>会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月又は3月：ボランティアセンター運営委員会 ・福祉教育研修会（8月予定）の支援 												
【拡】(10)高齢者通所型介護予防事業			<p>高齢者が要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で自立した在宅生活を継続できるように、参加者のニーズ及び身体状況に応じたプログラムを提供します。</p> <p>○市内誰もが集える拠点1か所（サンプラザ）及び地域での介護予防事業を実施します。</p> <p>○サンプラザ会場は日曜日、火曜日、水曜日に加え、新たに月曜日も実施します。商店会と協働した教室も開催します。</p> <p>○地域での介護予防事業は公民館や店舗等の協力を得て脳まめなけクラブ等を実施や、いきいきサロン・経田コミカフェ潮風の介護予防教室へスタッフを派遣します。</p>	<p>通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さんさん介護予防教室にてサンプラザ商店会とのコラボ企画（月1回） ・サンプラザ会場の利用者数は1日受入れ35名上限 ・脳まめなけクラブ 前期（5月～8月）本江公民館 後期（10月～1月）サンプラザ ・ウエルシア魚津吉島西店 高齢者の趣味を見つける場の提供 ・新川文化ホール 趣味教室（65歳以上を対象に趣味を活かせる場の提供） 												
10,566	9,020	1,546														
(市受託金 10,476・その他 90)																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会場等</td> <td colspan="4"> <p>●サンプラザ（大ホール） 10時30分～14時30分 体操・脳トレ・創作教室等</p> </td> <td> <p>●脳まめなけクラブ 本江公民館 サンプラザ</p> <p>●介護予防教室 ウエルシア 新川文化ホール</p> <p>●スタッフ派遣 いきいきサロン等</p> </td> </tr> </tbody> </table>		日	月	火	水	木	会場等	<p>●サンプラザ（大ホール） 10時30分～14時30分 体操・脳トレ・創作教室等</p>				<p>●脳まめなけクラブ 本江公民館 サンプラザ</p> <p>●介護予防教室 ウエルシア 新川文化ホール</p> <p>●スタッフ派遣 いきいきサロン等</p>	
	日	月	火	水	木											
会場等	<p>●サンプラザ（大ホール） 10時30分～14時30分 体操・脳トレ・創作教室等</p>				<p>●脳まめなけクラブ 本江公民館 サンプラザ</p> <p>●介護予防教室 ウエルシア 新川文化ホール</p> <p>●スタッフ派遣 いきいきサロン等</p>											

4 総合福祉相談事業サービス区分

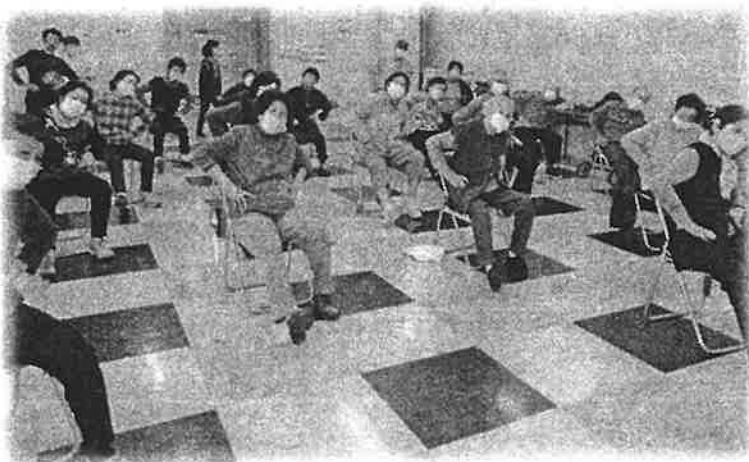
事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)総合福祉相談事業			<p>心配ごと、悩みごとなどの様々な相談に対して、必要な福祉サービスに関する情報提供や助言を行います。</p> <p>○相談者の問題解決に向けて、社協の関係部署や最適な関係機関等と連携を取りながら、地域で安心して暮らせるようにサポートします。</p>	通年
240	240	0		
(市受託金 240)				
(2)日常生活自立支援事業			<p>認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力の不十分な方が、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス利用援助と利用者の権利擁護に努めます。</p>	通年 利用者数：50名
6,765	6,730	35		

(県社協受託金 5,525・繰入金 1,240)			○判断能力の低下や利用者の状況の変化により本事業での支援が困難となる方に対して成年後見制度など適切な支援への移行を勧めます。 ○利用者の通帳・印鑑等の保管状況や通帳残高の適正管理に努めます。	生活支援員登録者数：25名
(3)生活福祉資金貸付事業			低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対して、資金の貸付けと必要な相談援助を行い、経済的自立を図り安定した生活を送れるように支援します。 ○借受人の償還状況を把握し、生活状況を確認した上で自立助長につながる相談支援、または償還指導を行います。滞納者に対しては滞納理由に応じた支援や償還方法などについて県社協と協議を行います。 ○コロナ特例貸付における相談・申請（期間限定）、償還相談などに応じます。	通年 コロナ特例貸付：期間限定
403	402	1		
(県社協受託金 403)				
(4)生活困窮者自立支援事業			富山県東部生活自立支援センターと連携し、生活保護に至らない生活困窮者に対して、経済的自立や社会的自立など、本人の状態に応じた自立支援に努め、関係機関との連携を図ります。 ○コロナ禍の影響による減収・失業等で生活困窮等に至る新規相談も急激に増加していることから、相談者に寄り添った支援に努めます。 ○食べることに困っている方や喫緊に生活上の困難に直面している方に対して、必要に応じて緊急的に食料支援を行う「フードネーション支援」を継続するとともに、食料を提供して頂ける協力者を引き続き募集します。	通年 ・東部生活自立支援センター巡回訪問の受入れ（月1回） ・支援調整会議（月1回） ・富山県東部生活自立支援ネットワーク会議（年1回）
440	400	40		
(県社協受託金 440)				
(5)法人後見推進事業			認知症や障がいなどで判断能力が低下した方及び不十分な方を支援するため、当法人が法人後見人となり権利擁護に努めます。 ○法テラスや行政等関係機関と連携し、成年後見制度の普及啓発、相談に応じます。 ○新規ケースの受任適否、法人後見業務などについて、法人後見推進委員会の指導及び助言を受け、適切な事業の運営に努めます。	法人後見推進委員会 ・定期開催：年1回 ・受任適否に関する委員会：適宜
295	400	△105		
(市受託金 295)				
【拡】(6)市民後見人養成講座開催事業			成年後見人等の担い手として専門職以外に市民の立場で後見活動を行う「市民後見人」を養成するため、成年後見に関する知識・技術・社会規範・倫理性を習得する研修会を開催します。	・成年後見セミナー：年1回 ・市民後見人養成講座（実務）年1回（複数日開催）
250	0	250		
(市受託金 250)				
【新】(7)成年後見制度利用促進体制整備推進事業			地域において必要な人が成年後見制度を利用できるよう、地域における相談窓口を整備し、権利擁護支援の必要な人の発見と適切な支援に繋げる「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」の取りまとめ役となる中核機関の整備を、市と協力して進めます。 ○協議体（福祉・医療・法律・司法・その他関係者で構成する合議体）を立上げ、顔の見える関係を作ります。 ○中核機関に求められる4つの機能（広報・相談・制度利用促進・後見人支援）が果たせるよう、研修会等で資質向上に努めます。	中核機関の立ち上げ ・目標年月：令和4年3月
430	0	430		
(市受託金 430)				

5 共同募金事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)いきいきサロン活動事業			地域における集いの場を設け、高齢者などの孤立防止、仲間づくり、心身機能の維持、役割の創出などに努めます。 ○サロンへ活動助成金を交付し、活動の充実を支援します。	目標サロン設置数：88カ所 (現状維持)
800	800	0		
(共同募金 800)				
(2)地区社協活動推進事業			13地区社協の活動を支援します。 ○小地域福祉活動計画に基づく各種活動の実践を支援します。 ○小地域福祉活動計画の進捗に関する管理及び時期計画策定に関する支援を行います。	通年 地域福祉活動計画推進委員会 定期開催：年2回 策定に関する会議：通年
1,011	1,015	△4		
(共同募金 1,011)				
(3)福祉でまちづくり活性化事業			地域における課題を解決するため、養成講座や研修会を開催し、次世代を担う福祉人材を養成します。 ○人材発掘や成り手不足が全市的な課題となっている中、市や県社協、他業種など様々な分野と福祉が協働して、地域を基盤に福祉教育の視点も活かした「まちづくり」に繋がる研修会等を企画します。 ○魚津市まちづくりフォーラムに参加し、社協の事業の周知・PRを行います。	・2月頃：魚津市まちづくりフォーラム
480	480	0		
(共同募金 480)				
(4)ささえあいマップづくり事業			ささえあいマップを活用して身近な居住地域の情報を共有し、地域の課題方法を考えます。 ○日頃からどのような助けあいや支え合いが行われているかを話し合い、可視化することで「見守り体制の充実」、「集まりの場」、「災害時の活動」など、町内会の活性化に必要な今後の取り組みについて検討します。 ○ささえあいマップづくり策定地区の更新を支援します。 ○他事業と連携し、ささえあいマップに関する普及啓発を行います。	通年
100	100	0		
(共同募金 100)				
(5)社会福祉大会開催事業			第70回魚津市社会福祉大会を開催します。 ○福祉関係者をはじめ、広く市民の皆さんが地域福祉を考える機会とします。 ○福祉事業功労者の表彰、大会宣言の承認と大会決議の採決、記念講演を実施します。	日時：7月10日(土)13時30分 会場：新川文化ホール
700	730	△30		
(共同募金 450・繰入金 250)				
(6)広報啓発活動事業			「より見える、見やすい社協活動」を常に意識し、住民の福祉活動の理解と地域福祉活動参加意欲の促進を目指します。 ○社協だより、ホームページを活用しより分かりやすい内容でタイムリーな情報発信に努めます。	広報誌発行：年3回 (6月・10月・3月予定) ホームページの更新 フェイスブックなどの活用検討
299	553	△254		
(共同募金 299)				
(7)魚津あったか食堂事業			「あったかいごはんをみんなで食べよう」を理念に家庭の味を低額で提供し、子どもも大人も気軽に利用できる「魚津あったか食堂」の事務局を担い、活動を支援します。	全10回開催 4/24 5/22 6/26 8/28
120	310	△190		

(共同募金 120)	<p>なお、令和3年度から食堂事業の活動費を助成する運営に変更となります。</p> <p>○調理等のボランティアスタッフで組織する「魚津あったか食堂運営委員会」が主体となって月1回（原則第4土曜日。ただし、1月と7月は除く。）開催します。</p> <p>○コロナ禍の対応として、市内児童センターの児童と保護者、生活困窮の方へは市社協職員が配達して昼食を提供します。</p>	<p>9/25 10/23 11/27 12/18 2/26 3/26</p>
【新】(8)共生社会づくり推進事業	<p>若い世代にも福祉への興味関心を持ってもらうために、デザイン性の高い情報誌を発行し、共生社会の実現を目指します。</p> <p>○障がいのある人たちの暮らしや、活動などを紹介する情報誌を発行します。</p>	<p>情報誌発行：年1回</p>
175 0 175		
(共同募金 175)		



さんさん介護予防倶楽部じゃ〜んとこい



市民後見人養成研修会

2 児童センター拠点

1 児童センター管理経営事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(1)児童センター管理経営事業			児童が健全な遊びを通して心身を育成し情操を豊かにできるよう、地域の期待に応える児童センターの経営に努めます。 ○児童が安心して過ごせる居場所の確保・危険防止と過ごしやすい環境を整備します。 ○子どもの自主性、社会性、創造性などを育てよう、魅力ある遊びのプログラムの企画や、各地域に根ざしたイベントを行います。 ○小学校長や主任児童委員等で構成する児童センター運営会議を開催し、意見や助言を求め、適正な管理等に努めます。	利用者目標：64,000人 （前年度目標：64,000人） 児童センター運営会議 年1回（5月に開催予定）
49,281	48,024	1,257		
(指定管理料 48,877・その他 404)				

2 放課後児童健全育成事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(1)放課後児童健全育成事業			下校後に保護者が仕事等で家庭にいない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し健全な育成を図ります。 ○保護者、学校、地域等関係機関と連携を図り、子ども自身への支援と同時に子どもの生活の基盤である家庭での養育を支援することに努めます。 ○放課後児童支援員の資質向上を目指し、専門性を高めます。	通年（月～土曜日）
31,325	32,593	△1,268		
(市受託金 29,730・その他 1,595)				

3 地域子育て支援事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(1)地域子育て支援事業			乳幼児親子が気軽に集い交流できる場を提供し、子ども同士の交流や、子育ての不安・悩みを解消できるよう親子教室を開催します。	通年 目標利用組数
6,078	6,225	△147		

(市受託金 5,994・その他 84)			<p>○乳幼児親子を対象にした会員登録制「親子教室」をひばり、つばめ、すすめ児童センターで毎週水曜日に開催します。</p> <p>○自由に参加できる「ひろば」をひばり(月)、つばめ(火)、すすめ(木)児童センターで週1回、「ひろば：子育て相談」を毎週金曜日に開始します。</p> <p>○ファミリーサポートセンターの利用会員同士の交流会を開催し、地域住民との交流活動を行います。</p>	親子教室(週1回) 親子延1,000組 ひろば(各センター週2回) 親子延1,200組
【新】(2)つばめ児童センター日曜開館事業			<p>名称を「みなSUN デイ～日曜はつばめであそぼう～」とし、休日にも天候に関係なく親子で一緒に楽しむことのできる活動を提供します。</p> <p>○つばめ児童センターを第2、4日曜日開館します。</p> <p>○親子で楽しめる遊具の整備、親子行事(1日2回実施)を行い、親子が楽しいと実感できる企画を提供します。</p>	つばめ児童センター 第2・4日曜日
1,355	0	1,355		
(市受託金 1,355)				

4 ファミリーサポートセンター事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)ファミリーサポートセンター事業			<p>育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児の援助を行いたい人(協力会員)が相互援助活動を行い、保護者が仕事と育児を両立できるように支援します。</p> <p>○児童センターを利用している保護者との交流会を開催し、より利用しやすい関係づくりを行い会員増を目指します。</p> <p>○子育て応援講座を開催し、育児に関する学びの場、会員同士の交流や事業の周知を行います。</p>	通年
2,000	2,000	0		
(市受託金 2,000)				



親子教室



うおしゃくんへのマスクプレゼント

3 障害福祉サービス拠点

1 障害者交流センター管理経営事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)障害者交流センター管理経営事業			障がいのある人たちの自立と社会参加の促進に寄与するための施設づくりに努めます。 ○利用者が利用しやすい交流の場、活動の場となり障がいのある人たちの居場所づくりに努めます。 ○パラリンピック出場選手への積極的な支援、障がい者ダンスチームの支援など障がい者のスポーツ、文化活動の充実を図ります。 ○障がいのある人たちの地域生活への理解を促進するため、交流イベントの開催、情報発信を行います。	開所日：火～日曜日 9時～17時
4,023	4,140	△117		
(指定管理料 3,699・その他 324)				

2 障害者地域生活支援事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)障がい者相談支援事業			障がい者やその家族等からの様々な相談に応じ、地域で自立した日常生活および社会生活を送れるよう、相談支援を行います。 ○地域に暮らす障がいのある人たちを支えるために、さまざま関係機関との連携するとともに、相談支援の質の向上を図ります。 ○障がいのある人たちが地域で暮らしていくために必要な仕組みづくり、障がい者福祉に関する理解を推進する取り組みを行います。	通年
9,200	14,730	△5,530		
(市受託金 9,200)				
【拡】(2)障害者計画相談支援事業			様々な障害福祉サービスを利用する際に必要となる「サービス等利用計画」の作成や、サービス利用後の計画見直し(モニタリング)を行い、地域での安心した生活を送れるよう支援します。 ○障害福祉サービスを利用するための「サービス等利用計画書」の作成と定期的なモニタリングを実施します。 <u>経営改善の取り組み</u>	サービス等利用計画作成 180件 モニタリング 180件
6,463	0	6,463		
(障害福祉サービス事業等収入 6,463)				

			<ul style="list-style-type: none"> 適切な加算による収益増 継続サービス利用支援（モニタリング）の実施件数の増加 	
(2)手話・朗読奉仕員養成事業	聴覚障がい者の自立と社会参加を推進するために必要なコミュニケーション支援を行なう手話奉仕員の養成を行います。		市民手話教室・基礎講座 全25回	
420	600	△180		
(市受託金 420)			○「魚津市民手話教室・基礎講座」を開催します。	
(3)障害者IT推進員派遣事業	障がい者のパソコン等の使用に関する相談や援助を行い、社会参加を促進します。		パソコン教室開催日 毎月 第4土曜日	
280	280	0		
(県受託金 280)			○障害者交流センターで「障がい者パソコン教室」を開催します。	

3 グループホーム大光寺事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)グループホーム大光寺事業			利用者一人一人が地域でその人らしい自立した暮らしができるよう支援します。 ○ニーズに応じた個別支援計画を立て支援するとともに、定期的にモニタリングを実施します。	サービス提供：通年 利用者6名
9,230	9,534	△304		
(障害福祉サービス事業等収入 8,854 その他 76・前期繰越金 300)				

4 つくし学園管理経営事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)つくし学園管理経営事業			新川地域の中核的な児童発達支援センターとして、専門的な「発達支援」「家族支援」「地域支援」を提供します。 ○第4回目指定管理(令和3～5年度)から利用料金制の導入により、適切な加算請求による収入確保により安定的な運営を行います。 ○医療的ケア児の受入れを行うため看護師配置、地域の保育園との併行通園への対応、家庭訪問等の相談機能の充実などにより質の高い「児童発達支援事業」を実施します。	サービス提供日：月～金 利用定員：20名
73,263	55,588	17,675		
(障害福祉サービス事業等収入 72,601 その他 662)				

	○「保育所等訪問事業」を実施し、保育園だけでなく小学校、学童クラブなどでの環境整備、支援方法を伝えます。 ○障害児相談支援によるサービス等利用計画、モニタリングを確実に実施します。		
(2)療育等支援事業	障がい児や支援の必要な子どもたちや保護者からの相談を受け、生活を支えるため個別支援や地域の関係機関とのネットワークづくりを行います。 ○個別療育相談、気になる子どもたちのスキルアップ教室（りんご教室）を開催します。 ○保育士の交流会等支援者向けの研修会を開催します。 ○医療的ケア児、保護者の交流の場をつくり地域で暮らす仲間づくりを行います。		りんご教室 5クラスで実施 医療的ケア児交流会：年5回
4,319	2,294	2,025	
(県受託金 4,319)			



医療的ケア児交流会(つくし学園)



児童発達支援事業(つくし学園)

4 介護保険サービス拠点

1 ホームヘルプステーション事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)ホームヘルプステーション事業			<p>要介護の方、障がいのある方が、地域で安心して自立した日常生活を送ることができるよう支援します。また、利用者の方に寄り添い、ニーズに応じたサービスの提供に努めます。</p> <p>○介護保険法による「訪問介護」「総合事業」、障害者総合支援法による「居宅介護」「同行援護」を実施します。</p> <p>○受診同行や介護保険サービス外の必要なサービスについて、私的サービス事業を提供します。</p> <p>○利用者のニーズに応じた多様なサービス提供に努め、迅速かつ効率的・柔軟性のある質の高いサービス提供を行います。</p> <p>○障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業を活用し、職員がより安全な介護を行います。</p> <p>経営改善に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の確保による安定的なサービス提供 ・新規利用者の積極的な受け入れ 	<p>サービス提供日 12月29日～1月3日を除く毎日 目標訪問回数：32,000件 訪問介護：20,580件 総 合：5,040件 障 がい：6,060件 私 的：320件</p>
184,940	168,988	15,952		
(介護保険事業収入 85,633 障害福祉サービス事業等収入 28,242 前期繰越金 70,473・県補助金 592)				

2 東部デイサービスセンター事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)東部デイサービスセンター事業			<p>要介護状態となった方々の食事・排泄・入浴介助などの日常生活等の援助とともに、閉じこもり予防、心身の機能維持、家族の介護負担の軽減に努めます。</p> <p>○認知症対応型デイサービスの充実を図り、認知症の方々の進行予防や周辺症状の緩和に努めます。</p> <p>○通所介護、総合事業を実施し、利用者ニーズに応じて迅速かつ柔軟な受け入れを行い</p>	<p>サービス提供日：年間360日 利用定員 通所介護（総合事業含む）23人 認知症対応型通所介護 12人 目標利用者数：10,080人</p>
163,234	142,862	20,372		
(介護保険事業収入 102,728・前期繰越金 60,506)				

	<p>利用しやすい施設づくりを図ります。</p> <p>○質の高いサービス提供とともに、収支バランスを意識した経営管理を行います。</p> <p>経営改善に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的なサービス提供を実施するための介護職員確保 ・施設の長寿命化に必要な修繕等の実施 	<p>通所介護：5,520人 認知症：3,480人 総合事業：1,080人</p>
--	--	---

3 身体障害者デイサービス事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)身体障害者デイサービス事業			<p>障がいのある人々の自立と社会参加を目的に、利用者ニーズの応じた幅広いサービス提供を行います。</p> <p>○障害者総合支援法に基づく「共生型生活介護サービス」、介護保険法に基づく「通所介護」「総合事業」、児童福祉法に基づく「共生型放課後等デイサービス」を実施します。</p> <p>○関係機関と連携をはかり利用者の個性を生かした質の高いサービス提供を行います。</p> <p>○オンラインを活用した新たな交流活動の実施や、地域住民向け福祉講座の開催など利用者の強みを活かした取り組みを行います。</p> <p>経営改善に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所等との連携による新規利用者の受け入れ促進 ・放課後等デイサービス事業におけるサービス提供時間外料金の見直し 	<p>サービス提供日：月～土 利用定員：23人 目標利用者数：5,280人 通所介護：1,200人 総合事業：480人 生活介護：2,880人 身障デイ：200人 放課後等デイ：520人</p>
8,613	9,639	△1,026		
(市受託金 8,400・その他 213)				
(2)通所介護・生活介護事業				
74,852	65,915	8,937		
(介護保険事業収入 14,025 障害福祉サービス事業等収入 25,601 前期繰越金 35,226)				

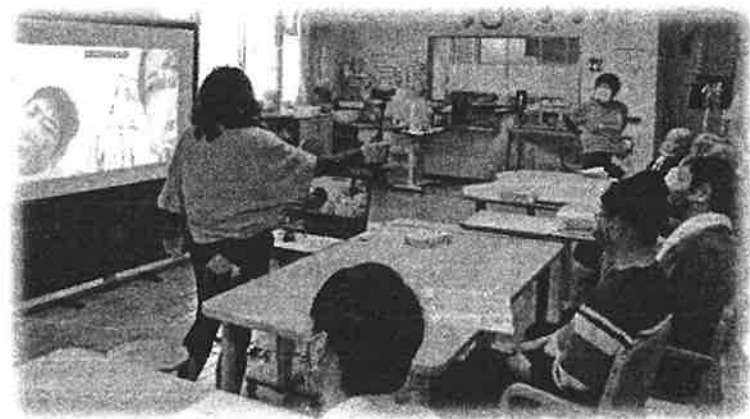
4 居宅介護支援事業サービス区分

事業名			事業内容等	実施時期・目標等
予算額	前年度	比		
(財源内訳)				
(1)居宅介護支援事業			<p>利用者の尊厳保持や自立支援を重視した公正、中立、誠実なケアマネジメントを実施し、地域で安心して暮らすことのできるケアプランの作成を行います。</p>	<p>介護支援専門員 常勤：5名 パート職員：3名</p>
94,779	83,860	10,919		

<p>(介護保険事業収入 55,156・前期繰越金 39,623)</p>	<p>○研修会等に積極的に参加し職員の質の向上を図り、困難事例への対応や社協らしいケアマネジメントを実践します。</p> <p>○多職種や地域との連携を強化し、地域包括ケアを実践し地域貢献に努めます。</p> <p>○東部デイサービスセンターへの事務所移転を行い、事務所環境を整備し経営管理体制の充実を図ります。</p>	<p>主任介護支援専門員：3名配置 目標利用件数：3,420件 要介護1～2：2,340件 要介護3～5：1,080件</p>
	<p>経営改善に向けた取り組み</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬の見直し等による適切な加算請求 ・新規利用者の積極的な受け入れによる利用件数の増加 	



認知症対応型デイサービス(東部デイ)



リモート交流会(身障デイ)

